

（1）ハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.2.16～2.27、対象者数：約4,700名 ※全職員から県立病院分を除いた数）

○回答者数 3,840名（回答率83%）

①全庁的なハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

- 【被害の状況】 ・ 現在ハラスメントに悩んでいる方は**262名**（調査対象者全体の5.7%、回答者数の6.8%）で、主に**パワーハラスメント**が多い。
- ・ 行為者は**管理職**や**課長補佐級**の者が多い。被害に遭われた方との関係性としては**上司**が多い。
 - ・ **特別職からのハラスメント**に「悩んでいる」との回答が3名（中村副知事をハラスメントの行為者とするものが2名、行為者の記載のないものが1名）。その他、**自由記述欄**で中村副知事について言及のあるものが4名（いずれも「匿名」で、「人事課による調査を希望しない」と回答）

- 【被害の対応】 ・ ハラスメントを受けた際、**半数以上の方が何らかの行動を取っている**。
- ・ その行動は「**上司への報告・相談**」が多く、**それらの行動により27%が改善**

- 【人事課調査】 ・ 人事課調査を希望したのは**39名**。調査を希望しない方の理由は「**調査しても改善しない**」が最多

②これまでの福井県庁の組織文化における課題の把握

- 【過去の対応】 ・ 過去「被害を受けたもしくは相談を受けた」方で、**何らかの行動を起こした方は全体の19%**
- ・ その際の行動は**上司や同僚への相談**が多く、**それらの行動により40%が改善**

- 【職場の状況】 ・ ハラスメントのあった職場は、**職員間のコミュニケーションが不足し、意見が伝え辛い傾向**
- ・ 現在は、**職場の雰囲気**が「**改善されている**」「**やや改善している**」との回答が**約6割**

（参考）今回の調査の実施にあたっては、総務省や他県の調査を参考にしています。

総務省「地方公共団体における各種ハラスメントに関する職員アンケート調査」（令和6年度）

- ・ 回答者数 11,507人（回答率58%） ※388の都道府県・市町村から、一般行政部門に属する一般職の職員20,000人を無作為で抽出
- ・ 回答結果 過去3年間に、**パワハラ**を受けた経験は全体で15.7%（1,808人）、**セクハラ**を受けた経験は、全体で3.9%（447人）

（2）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間、対象者数は（1）と同様）

○回答者数 3, 258名（回答率70%） ※調査の回答数であり、事実認定したものではない

【被害の状況】・前知事からセクシュアルハラスメントを受けていたと回答した方は5名、
「相談を受けた、見た・聞いた」と回答した方は44名
（44名の内容の内訳：相談を受けた 3名、見た・聞いた 34名、内容は回答したくない 7名）
・回答内容は、「報告書同様」や「性的なLINEのやり取り」等であった。

【被害の対応】・「被害を受けた方」のうち4名、「相談を受けた・見た・聞いた」方のうち41名は、被害や相談等に対して「何もしなかった」。
・「何もしなかった」理由として、被害を受けた方は「忘れたかった」、相談を受けた、見た・聞いた方は「知事だったから」が最多

【必要な対策】・「当時、どのようなサポートがあると良かったか」の問いに対し**第三者相談窓口が必要**という回答が最も多く、物理的な引き離しや懲戒処分等も挙げられた。

■（1）についての今後の方針

- ・人事課による調査を希望した事案について、**被害者・加害者の双方に聴き取り**などを実施中
- ・知事を本部長とする**コンプライアンス推進本部**を設置（4/6）。部局長に対し、**管理職の意識改革、ハラスメント相談窓口の周知徹底、職員とのコミュニケーションをしっかりと**り、**職場環境の把握・改善**に取り組むことを指示
- ・調査結果の詳細を分析し、コンプライアンス委員会からの意見も聞きながら、**必要な対策・改善**を実施

ハラスメントに関する調査結果（詳細）（知事部局（県立病院除く）） 1/2

（1）全庁的なハラスメント被害の実態把握

被害の状況 ・現在悩んでいる方は262名で、主にパワハラが多い。
 ・行為者としては管理職以上の方、関係性としては上司が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか
 悩んでいる（7%） 262名
 悩んでいない（93%） 3,578名
 計3,840名

問2 ハラスメントの種類（複数回答可）

パワハラ	220名
セクハラ	25名
マタハラ	6名
その他	52名（不機嫌ハラスメント等）

問3 ハラスメント行為者の職級（複数回答可）

特別職	3名
管理職以上（特別職を除く）	75名
課長補佐級（課長補佐、総括主任、主任）	79名
会計年度任用職員	19名
主査級（企画主査、主査）	17名

問4 行為者との関係（複数回答可）

職場の上司	167名
職場の同僚	55名
職場の部下	21名
同じ職場ではないが業務上接点あり	20名
回答したくない	22名

これまでの対応 ・ハラスメントを受けた際、半数以上の方が何らかの行動を取っている。
 ・上司への報告・相談が多く、それらの行動により27%が改善

問5 ハラスメントを受けた時の対応

何もなかった（41%）	108名
行為者に抗議したり、誰かに相談したり、何らかの行動をした（59%）	154名

計262名

問6 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	116名
同僚への相談	80名
家族への相談	57名
行為者に直接抗議した	46名
相談窓口などに相談した	27名
回答したくない	6名

問7 行動で何か変化は

何も変わらなかった	67名
問題は一時的に改善された	39名
問題はむしろ悪化した	20名
問題は完全に解決した	3名
回答したくない	4名
その他	21名

計154名

問8 何もなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	67名
職務上不利益が生じると思った	54名
職場の人間関係が悪くなると思った	48名
行為がエスカレートすると思った	37名
相談しにくい雰囲気があった	24名
担当部署が公正に扱つか疑問	23名

人事課調査 ・調査希望39名。希望しない理由は「調査しても改善しない」が最多

問9 人事課による調査を希望するか

希望しない（85%）	223名
希望する（15%）	39名

計262名

問10 希望しない理由（複数回答可）

調査しても改善しないと感じる	116名
行為者を刺激し報復されないか心配	110名
自身に不利益が生じないか心配	90名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	65名
調査への協力が煩わしいため	27名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	23名

（2）これまでの福井県庁の組織文化における課題の把握

これまでの対応 ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は、上司への報告・相談が多く、それらの行動により40%が改善

問11 これまでどのように対応したか

（1）で回答済み（14%）	549名
行為者に抗議したり、誰かに相談したり、何らかの行動をした（19%）	710名
何もなかった（24%）	914名
これまでハラスメントを受けたり、聞いたりしていない（43%）	1,667名

計3,840名

問12 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	435名
同僚への相談	312名
家族への相談	169名
行為者に直接抗議した	156名
相談窓口などに相談した	75名
回答したくない	17名

問13 行動で何か変化は

何も変わらなかった	305名
問題は一時的に改善された	219名
問題は完全に解決した	66名
問題はむしろ悪化した	36名
回答したくない	16名
その他	68名

計710名

問14 何もなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	421名
職場の人間関係が悪くなると思った	314名
職務上不利益が生じると思った	265名
幹部が行為者だったから	251名
行為がエスカレートすると思った	193名
ハラスメントを相談しにくい雰囲気	190名
当時はハラスメントという認識無し	162名
相談窓口がどこか分からなかった	150名

職場の雰囲気 ・ハラスメントのあった職場は、職員間のコミュニケーションが不足
 ・現在は、職場の雰囲気が「改善」「やや改善」が全体の約6割

問15 当時の職場の雰囲気（複数回答可）

悩み、意見を上司に伝えにくい	736名
上司・部下の会話が少ない	542名
時間外勤務が長い	438名
人手が不足している	428名
休暇を取得しづらい	307名
同僚同士の会話が少ない	207名
職員間でのからかいが日常的	199名
他部署や外部との交流が少ない	193名

問16 現在の職場との比較

改善されている	707名
やや改善されている	315名
変わらない	227名
やや悪化している	12名
悪化している	12名
相談を受けた立場のため不明	99名
現在の職場で被害がある	64名
回答したくない	64名
その他	124名

計1,624名

問17 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

行為者と被害者の引き離し	793名
第三者相談窓口の設置	623名
行為者の懲戒処分	622名
行為者の更生プログラム実施	409名
相談を受けた後の報告義務化	366名
全職員向けのハラスメント研修	333名

問18 相談窓口を知っていたか

回答したくない・その他（3%）	115名
知らなかった（58%）	2,224名
知っていた（39%）	1,501名

計3,840名

ハラスメントに関する調査結果（詳細）（知事部局（県立病院除く）） 2/2

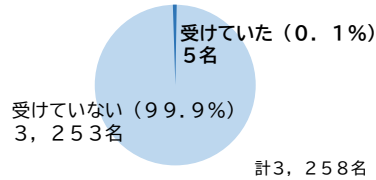
（1）杉本前知事からのセクシュアルハラスメントの有無

被害の状況

- ・ハラスメントを受けていたと回答した方は5名だった。
- ・内容は、報告書に記載のとおりであった。

問1 前知事からのハラスメントの有無

問2 どのような内容だったか



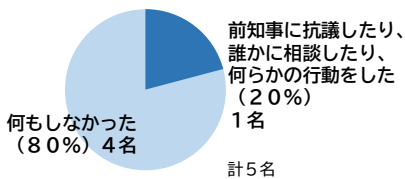
- ・報告書同様
- ・LINEでの性的な発言
- ・テキストメッセージ、電話、身体的接触
- ・回答したくない 等

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた方内、4名の方は「何もしなかった」。
- ・その理由として「ハラスメントを受けた事を忘れたかった」が最多

問3 何か行動を起こしたか

問4 行動で何か変化は



何も変わらなかった 1名

問5 何もしなかった理由（複数回答可）

- ハラスメントを受けた事を忘れたかった 4名
- 知事が行為者だったから 3名
- 職務上不利益が生じると思った 3名
- 被害を受けている事を知られたくなかった 3名
- 何をしても解決にならないと思った 2名

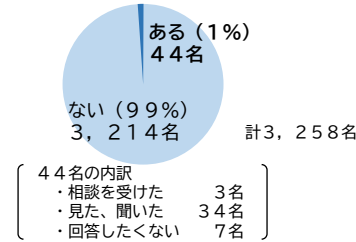
（2）誰かから相談を受けたり、見たり、聞いたりした事があるか

被害の状況

- ・実際に44名の方が、相談を受けたり、見たり、聞いたりしたと回答
- ・被害内容は、報告書に記載された内容が多く挙げられた。

問7 ハラスメントの相談等の有無

問8 どのような内容だったか



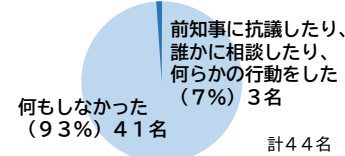
- （相談を受けた）
 - ・職員にLINEをしてくる。下の名前で呼ぶ
- （見た・聞いた）
 - ・性的な内容のLINEを送っていた
 - ・食事に誘われた
 - ・飲み会で手を握られる。連絡先を渡される
 - ・愛人になることを打診された方がいる 等

これまでの対応

- ・相談を受けた方で、実際に何らかの行動を起こしたのは3名だった。
- ・何もしなかった最大の理由として、著しい権利侵害が挙げられている。

問9 何か行動を起こしたか

問10 どのような行動か（複数回答可）



同僚への相談 2名
上司への報告・相談 1名

問11 行動で何が変化は（複数回答可）

問12 何もしなかった理由（複数回答可）

何も変わらなかった 2名
回答したくない 1名

- 知事が行為者だったから 10名
- 何をしても解決しないと思った 6名
- ハラスメント窓口が分からなかった 6名
- 担当部署が公正に取り扱うか疑問 6名
- 被害を誰にも知られたくなかった 5名
- 何かの行動をするほどのことではなかった 5名
- ハラスメントに該当する認識がなかった 4名
- 職務上不利益が生じると思ったから 4名

必要なサポート

- ・第三者相談窓口の設置が必要と複数回答があった。

問6 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

- 人事課を経由しない、第三者相談窓口の設置 3名
- 配置替え等、ハラスメントの行為者と被害者の引き離し 2名
- 相談を受けた職場の上長が人事課に必ず報告する仕組み 1名
- その他（権力者に対して何も出来なかったと思う） 1名

必要なサポート

- ・第三者相談窓口の設置が必要という回答が最も多かった。
- ・その他、物理的な引き離しや懲戒処分なども挙げられた。

問13 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

- 人事課を経由しない、第三者相談窓口の設置 21名
- 配置替え等、ハラスメントの行為者と被害者の引き離し 17名
- ハラスメント行為者の懲戒処分 17名
- 相談を受けた職場の上長が人事課に報告する仕組み 14名

（1）学校現場におけるハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.2.16～2.27、対象者数：約8,500名）

○回答者数 5,968名（回答率70%）

①学校現場におけるハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・現在ハラスメントに悩んでいる方は**245名**（調査対象者全体の2.9%）で、主に**パワーハラスメント**が多い。
・行為者としては**職場の同僚、管理職以上**の者が多い。

【被害の対応】・ハラスメントを受けた方のうち、**157名（64%）**の方が何らかの行動を取っている。
・その行動は**同僚や管理職への相談**が多く、それらの行動により**18%が改善**

【教委の調査】・教育委員会の調査を希望したのは**13名**。（個別に対応中）

②これまでの学校現場の組織文化における課題の把握

【過去の対応】・過去「**被害を受けたもしくは相談を受けた**」ことに対し行動を起こした方は全体の**19%**
・**同僚や管理職への相談**が多く、それらの行動により**51%が改善**

【職場の状況】・ハラスメントのあった職場の雰囲気は、「**悩み、意見を上司に伝えにくい**」「**勤務時間が長い**」「**管理職と職員間の会話が少ない**」傾向。
・現在は、**職場の雰囲気が「改善されている」「やや改善している**」との回答が**67%**

（2）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間、対象者数は（1）と同様）

○回答者数 5,779名（回答率67%） ※調査の回答数であり、事実認定したものではない

【被害の状況】・前知事からセクシュアルハラスメントを受けていたと回答した方は**0名**
「**相談を受けた、見た・聞いた**」と回答した方は**9名**
（9名の内容の内訳：相談を受けた 0名、見た・聞いた 8名、回答したくない 1名）

○今後の方針

- ・教育委員会による調査を希望した事案について、**被害者・加害者の双方に聴き取り**を実施
- ・「**県教委による相談窓口**」および「**教育委員会を經由しない第三者相談窓口**」の周知徹底
- ・「**ハラスメント実態調査**」を定期的実施
- ・**全教職員を対象とした人権意識を高めるハラスメント防止研修**を実施
- ・引き続き、WEBアンケート等により、仕事のやりがいや相談のしやすさなどの実態把握に努め、「**風通しの良い職場づくり**」を目指す

ハラスメントに関する調査結果（詳細）（教育委員会）

（１）学校現場におけるハラスメント被害の実態把握

被害の状況

- ・現在悩んでいる方は245名で、主にパワハラが多い
- ・行為者としては職場の同僚、管理職以上が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか

悩んでいる (4%) 245名
悩んでいない (96%) 5,723名
計5,968名

問2 ハラスメントの種類 (複数回答可)

パワハラ	206名
セクハラ	19名
マタハラ	3名
その他	39名 (不機嫌ハラスメント等)

問3 ハラスメント行為者の職級

同僚	94名
校長	54名
教頭	34名
回答したくない	38名

問4 行為者との関係 (複数回答可)

職場の同僚	98名
職場の管理職	90名
職場の部下	25名
同じ職場ではないが業務上接点あり	7名
回答したくない	31名

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた方のうち、157名が同僚や管理職に相談
- ・ただし、行動による変化は「何も変わらなかった」が最多

問5 ハラスメントを受けた時の対応

何もしなかった (36%) 88名
行為者に抗議したり、誰かに相談したり、何らかの行動をした (64%) 157名
計245名

問6 どのような行動か (複数回答可)

同僚への相談	93名
管理職への報告・相談	81名
家族への相談	57名
行為者に直接抗議した	30名
相談窓口などに相談した	10名
回答したくない	13名

問7 行動で何か変化は

何も変わらなかった	93名
問題は一時的に改善された	27名
問題はむしろ悪化した	4名
問題は完全に解決した	1名
回答したくない	12名
その他	20名

計157名

問8 何もしなかった理由 (複数回答可)

何をしても解決しないと思った	45名
管理職が行為者だったから	38名
職務上不利益が生じると思った	35名
職場の人間関係が悪くなると思った	28名
行為がエスカレートすると思った	18名
何らかの行動をするほどでもなかった	15名

教委の調査

- ・調査希望13名。(個別に対応中)
- ・希望しない理由は「改善しない」「報復」「不利益になる」

問9 教育委員会による調査を希望するか

希望する (5%) 13名
希望しない (95%) 232名
計245名

問10 希望しない理由 (複数回答可)

調査しても改善しないと感じる	116名
行為者を刺激し報復されないか心配	102名
自身に不利益が生じないか心配	97名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	62名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	55名
調査への協力が煩わしいため	34名

（２）これまでの学校現場の組織文化における課題の把握

これまでの対応

- ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は全体の19%
- ・同僚や管理職への相談が多く、それらの行動により約51%が改善

問11 これまでどのように対応したか

(1)で回答済み (11%) 645名
これまでハラスメントを受けたり、聞いたたりしていない (89%) 2,911名

問12 どのような行動か (複数回答可)

行為者に抗議したり、誰かに相談したり、何らかの行動をした (19%)	1,145名
何もしなかった (81%)	887名

計5,968名

問12 どのような行動か (複数回答可)

同僚への相談	705名
管理職への報告・相談	606名
家族への相談	292名
行為者に直接抗議した	263名
相談窓口などに相談した	47名
回答したくない	21名

問13 行動で何か変化は

何も変わらなかった	419名
問題は一時的に改善された	366名
問題は完全に解決した	223名
問題はむしろ悪化した	32名
回答したくない	38名
その他	67名

計1,145名

問14 何もしなかった理由 (複数回答可)

管理職が行為者だったから	319名
何をしても解決しないと思った	316名
職場の人間関係が悪くなると思った	239名
当時はハラスメントという認識無し	223名
職務上不利益が生じると思った	221名
行為がエスカレートすると思った	143名
ハラスメントを相談しにくい雰囲気	135名
何らかの行動をするほどでもなかった	131名

職場の雰囲気

- ・ハラスメントのあった職場は職員間の会話不足、勤務時間が長い
- ・現在は、職場の雰囲気が「改善」「やや改善」が全体の約67%

問15 当時の職場の雰囲気 (複数回答可)

悩み、意見を上司に伝えにくい	761名
勤務時間が長い	571名
管理職と職員間の会話が少ない	510名
人手が不足している	496名
休暇を取得しづらい	361名
職員間でのからかいか日常	342名
同僚同士の会話が少ない	253名
外部との交流が少ない	136名

問16 現在の職場との比較

改善されている	943名
やや改善されている	414名
変わらない	319名
やや悪化している	10名
悪化している	12名
相談を受けた立場のため不明	75名
現在の職場で被害がある	69名
回答したくない	84名
その他	106名

計2,032名

問17 どのようなサポートがあると良かったか (複数回答可)

第三者相談窓口の設置	748名
行為者と被害者の引き離し	722名
全職員向けのハラスメント研修	534名
行為者の懲戒処分	437名
相談を受けた後の報告義務化	355名
行為者の更生プログラム実施	326名

問18 相談窓口を知っていたか

知っていた (66%) 3,925名
知らなかった (34%) 1,07名
計5,968名

（1）県立病院におけるハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.3.6～3.19、対象者数：約1,500名）

○回答者数 1,137名（回答率75%）

【回答者の職種】看護師 656名、コメディカル 191名、医師 94名、委託派遣職員 100名、事務職 60名、回答したくない 32名、その他 4名

①県立病院におけるハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・現在ハラスメントに悩んでいる方は**150名**（調査対象者全体の9.8%、回答者数の13.2%）で、主に**パワーハラスメント**が多い。

・行為者の職種は、**看護師、医師**の順で多い。被害者を受けた方との関係性は**上司**が多い。

【被害の対応】・ハラスメントを受けた方のうち、**59名（39%）**が何らかの行動を取ったが、**91名（61%）**は何も行動を起こしていなかった。

・上司や同僚やへの相談が多く、それらの行動により**14%が改善**

【病院の調査】・病院事務局の調査を希望したのは**24名**。調査を希望しない方の理由は「調査しても改善しない」が最多

②これまでの県立病院の組織文化における課題の把握

【過去の対応】・過去「被害を受けたもしくは相談を受けた」ことに対し行動を起こした方は全体の**17%**

・上司や同僚への相談が多く、それらの行動により**32%が改善**

【職場の状況】・ハラスメントのあった職場は、**コミュニケーション不足、人手不足、休暇を取得しづらい傾向**

・現在の職場との比較は、「**変わらない**」が**44%**、「**改善・やや改善**」が**32%**

・病院事務局や人事課を経由しない外部相談窓口を希望する声が多い（**325名が希望**）

（2）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間は（1）と同様、対象者数は1,350人 ※委託派遣職員を除く）

○回答者数 **881名**（回答率**65%**） ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・前知事からセクシャルハラスメントを受けていたと回答した方は**2名**（2名とも内容の記載はなし）

・「**見た・聞いた**」と回答した方は**1名**（飲酒時の行動）

・上記3名とも、行動は「**何もしなかった**」、理由は「**何をしても解決にならないと思った**」

○今後の方針・調査を希望した事案について、外部調査機関により被害者・加害者双方から聴き取りを実施

・今回県が新たに設置した「**第三者相談窓口**」を病院職員も利用できることの周知徹底

・新たに院内に医師・看護師等からなる身近な相談窓口を設置し、相談の初期対応を実施

・新たにハラスメント対策の企画・実施を行う院内チームを設置、対策の助言・評価を行う外部有識者を配置

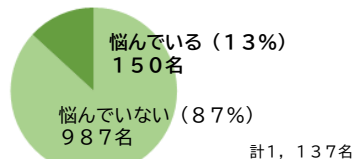
【県立病院】ハラスメントに関する実態調査について（詳細）

（１）県立病院におけるハラスメント被害の実態把握

被害の状況

- ・現在悩んでいる方は150名で、主にパワハラが多い
- ・行為者としては看護師、医師の順で多く、関係性としては上司が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか



問2 ハラスメントの種類（複数回答可）

パワハラ	142名
セクハラ	9名
マタハラ	5名
その他	10名 (モラハラ等)

問3 ハラスメント行為者の職種（複数回答可）

看護師	103名
医師	45名
コメディカル	20名
事務職	17名
委託派遣職員	16名
回答したくない	6名

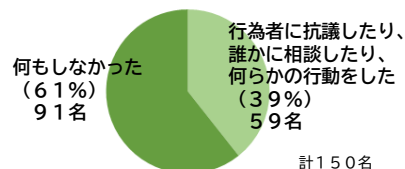
問4 行為者との関係（複数回答可）

職場の上司	99名
職場の同僚	26名
他職種から受けた	23名
職場の部下	15名
回答したくない	8名
その他	4名

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた際、何もしなかった職員の方が61%と多い
- ・上司への報告・相談が多く、行動しても「変わらなかった」が最多

問5 ハラスメントを受けた時の対応



問6 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	32名
同僚への相談	30名
家族への相談	17名
行為者に直接抗議した	11名
病院事務局に相談した	5名
職員組合に相談した	2名
相談窓口などに相談した	2名

問7 行動で何か変化は（複数回答可） 計59名

何も変わらなかった	42名
問題は一時的に改善された	7名
問題はむしろ悪化した	2名
問題は完全に解決した	1名
回答したくない	3名
その他	4名

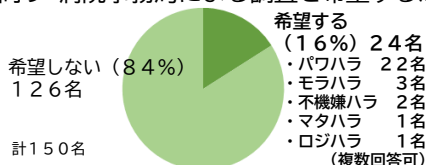
問8 何もしなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	66名
職務上不利益が生じると思った	45名
職場の人間関係が悪くなると思った	35名
行為がエスカレートすると思った	34名
上位職の者が行為者だったから	32名
相談しにくい雰囲気があった	25名

病院の調査

- ・調査希望24名。希望しない理由は「調査しても改善しない」が最多

問9 病院事務局による調査を希望するか



問10 希望しない理由（複数回答可）

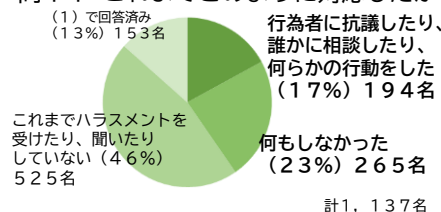
調査しても改善しないと感じる	86名
自身に不利益が生じないか心配	55名
行為者を刺激し報復されないか心配	52名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	40名
調査への協力が煩わしいため	19名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	13名

（２）これまでの県立病院の組織文化における課題の把握

これまでの対応

- ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は全体の17%
- ・上司への報告・相談が多く、行動しても「変わらなかった」が最多

問11 これまでどのように対応したか



問12 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	112名
同僚への相談	96名
家族への相談	34名
行為者に直接抗議した	33名
病院事務局・人事課に相談した	17名
職員組合に相談した	12名
相談窓口などに相談した	10名
回答したくない・その他	13名

問13 行動で何か変化は（複数回答可）

何も変わらなかった	105名
問題は一時的に改善された	48名
問題は完全に解決した	14名
問題はむしろ悪化した	8名
回答したくない	10名
その他	9名
計	194名

問14 何もしなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	157名
上位職の者が行為者だったから	128名
職務上不利益が生じると思った	94名
職場の人間関係が悪くなると思った	76名
行為がエスカレートすると思った	58名
相談窓口がどこか分からなかった	49名
担当部署が公正に扱うか疑問	47名
相談しにくい雰囲気があった	46名

職場の雰囲気

- ・ハラスメントのあった職場は、コミュニケーション不足、人手不足
- ・現在も「変わらない」が全体の44%、「改善・やや改善」が32%

問15 当時の職場の雰囲気（複数回答可）

悩み、意見を上司に伝えにくい	204名
人手が不足している	170名
休暇を取得しづらい	134名
上司・部下の会話が少ない	115名
時間外勤務が長い	76名
休憩時間を取得しづらい	74名
回答したくない	62名
職員間でのからかいが日常的	53名
他部署や外部との交流が少ない	50名

問16 現在の職場との比較（複数回答可）

変わらない	203名
やや改善されている	81名
改善されている	66名
悪化している	27名
やや悪化している	17名
現在の職場で被害がある	14名
回答したくない	30名
その他	21名
計	459名

問17 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

病院事務局を経由しない外部相談窓口	202名
相談を受けた後の報告義務化	152名
行為者と被害者の引き離し	133名
人事課を経由しない外部相談窓口	123名
行為者の懲戒処分	116名
行為者の更生プログラム実施	67名
全職員向けのハラスメント研修	59名

問18 相談窓口を知っていたか

